リーディングDXスクール事業 【実践事例】

川崎市立南河原小学校

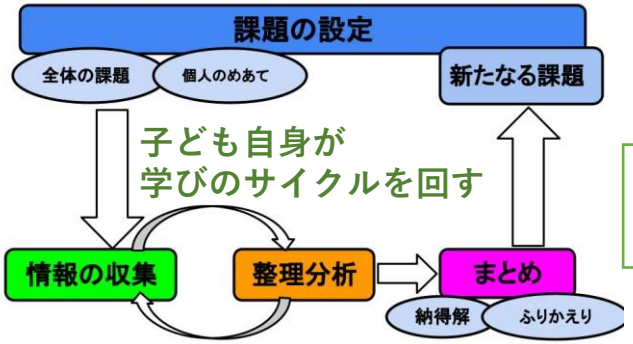
【取組内容①】 子どもとともに取り組む『子ども一人一人が主語になる授業』

子ども自身が「子ども一人一人が主語になる授業」について考え方を理解して、授業の在り方を考え、自分の課題にむけて解決する。

これまで 教師が「子ども一人一人が主語になる授業」を考え授業を行う。

実践 子どもとともに学び方について考え、共に授業をつくる。

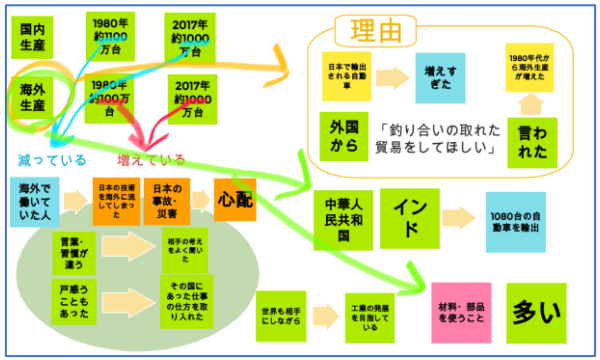
めあてとして自分の取り組みたいことを共有し、困ったときに誰に関わればよいかを明確にする。



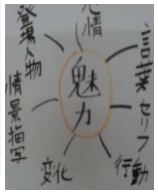
アウトプット

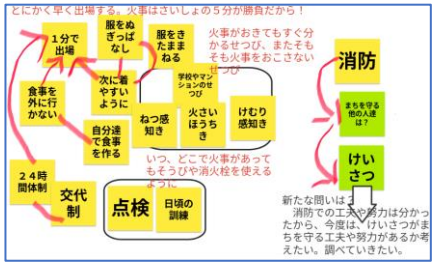
学んだことを言語化する。

情報を収集し、考えを整理していく。必要に応じて友達と取組を他者参照し、直接対話を重ねて他者からも情報収集をする。

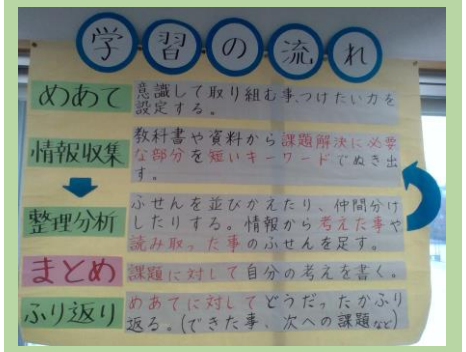
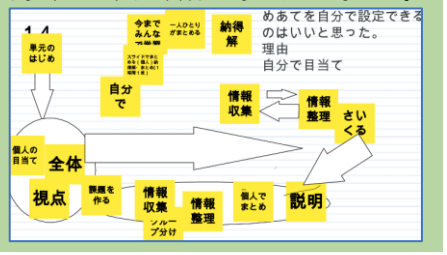
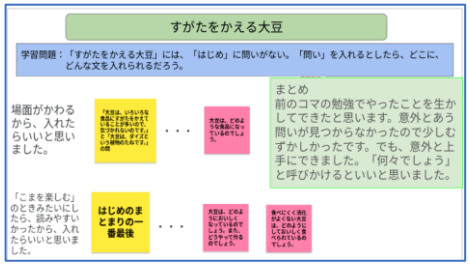


視点を明確にして情報収集・整理分析をする。





学び方について教室に通年掲示する。



高学年では更に自分で学び方を考える。